

国保税引き下げを



日本共産党市議会議員

砂田喜昭

公約実現へ迫る！ 走る！

明るい小矢部

No.184
2014年7月号

発行
日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂田喜昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842

日本共産党発行
しん赤旗
日刊●月3497円
日曜版●月 823円

国民健康保険の加入者に低所得者が増え、国民健康保険税が生活を圧迫しています。所得が少なく、国保税を法律で軽減している世帯が、市内には4割近くあります。

国保税の負担「たいへん 厳しい」副市長認める

40歳代の夫婦と子供2人の世帯で試算すると、年所得33万円以下(7割軽減世帯)でも国保税は48,900円になります(右下表 参照)。副市長も6月議会で「たいへん厳しい」と認めました。

全国の自治体

一人1万円超の補助

小矢部市はゼロ

国民皆保険を支えるのが国保制度です。会社員などが加入している社会保険には事業主負担があります。国保にはありません。国が本来、社会保障制度として支えるべきですが、逆に国庫負

軽減世帯数	国保世帯に占める割合	国保税額	年所得	所得に占める税額	参考給与年収	給与月額	国保税月額	
7割軽減	881	18.8%	48,900	330,000	14.8%	980,000	81,667	4,075
5割軽減	249	5.3%	160,400	1,060,000	15.1%	1,760,000	146,667	13,367
2割軽減	641	13.7%	280,700	1,730,000	16.2%	2,730,000	227,500	23,392
軽減世帯・計	1771	37.8%						
国保世帯数	4690							

夫婦40代4人家族モデル子ども2人

小矢部市 2013年度国保税 低所得で軽減世帯が約4割も

「全国の法定外繰入を調査」副市長

砂田市議は「全国の市町村並みに、法定外繰入をして国保税の軽減を」と迫りました。副市長は「国庫負担引き上げを国に申し入れた。また、全国の法定外繰入を調査してみたい」と答えました。最近、和歌山市は国保税(税)を全加入者に年2160円減額しました(全国商工新聞)2014年7月7日付。

日本共産党と砂田市議は引き続き市民の間を走り回り、国保税引き下げの署名を集めています。

国保税引き下げの

請願への

各議員の態度

「国保税引き下げを」の請願が市民の署名を添えて、6月議会に提出されました。市民の願いに各議員がどのような態度をとったか、賛成討論したのは砂田市議ただ一人、あとは黙って「反対」でした(左表参照)。

6月議会での請願	宮西佐作	砂田喜昭	尾山喜次	多田 勲	中西正史	沼田信良	中村重樹	嶋田幸恵	石田義弘	福島正力	白井 中	藤本雅明	吉田康弘	義浦英昭
国保税引き下げを	×	○	×	病欠	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×
集团的自衛権行使容認に反対を	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

○賛成 ×反対 議長は採決に加わらず

「海外で戦争する国へ」

安倍政権が「閣議決定」で 憲法9条破壊のクーデター

安倍政権が7月1日、「閣議決定」で自衛隊を海外で戦うことができるように憲法9条の解釈を変えました。憲法破壊のクーデターといつべき、暴挙です。市民の中に「安倍首相は怖い」「子や孫の代に戦争に巻き込まれるのではないか」、こんな不安の声が広がっています。

たたかいはこれから

日本共産党の志位委員長は「閣議決定の撤回を求める」と声明を発表、空前の国民的共同のたたかいを強く呼びかけています。また、三重県の松坂市長は、「解釈改憲は違憲だ」として違憲確認訴訟を視野に市民団体結成を呼びかけました。

「集团的自衛権」反対の請願に

各議員は？

6月議会に「憲法解釈を変えて集团的自衛権行使容認に反対する意見書採択を求める請願」が元小杉町長の土井由二さん、弁護士土の青島明生さんたちから提出されました。砂田市議は次の賛成討論をしました。他の議員は黙って反対しました(左上表参照)。

砂田市議の賛成討論から

集团的自衛権は、日本を守ることは全く違う。海外の戦争に、日本の自衛隊が加わるためのものだ。実際に使われた集团的自衛権は、最近ではアメリカが行ったアフガンやイラクへの侵略戦争だ。同盟国としてイギリス他多数の国が参戦し、若者が1千人以上も犠牲になった。自衛隊もイラクへ派遣されたが、憲法9条のおかげで一人の犠牲者も出さなかった。憲法9条で、日本は戦争をしない。「武力行使はしない」という縛りがあるからだ。

これは国会での論議の積み重ねによって定着してきた解釈だ。これを安倍内閣が自民党と公明党の密室協議で、勝手に解釈変更した。

このことに危機感を抱いて、戦後自民党の中枢を担ってきた古賀元幹事長、海部元首相、野中元幹事長、加藤元幹事長たちが、さぞうて安倍政権に苦言を呈している。安倍内閣は自民党政権というより、極右政党、軍国主義復活をたくらむ勢力に牛耳られている感がある。議員各位も、自民党の大先輩の意見を真摯に受け止めて、この請願にぜひ賛成を。

砂田市議への支持は、

安倍政権の暴走を止める力

日本共産党と砂田喜昭市議への支持は、必ずや安倍政権の暴走を止める力になります。